



火事を発見したとき

1 通報

大声で「火事だ！」と叫ぼう

- 大きな声で叫んだり、非常ベル、音の出るものを叩いたりして、隣近所に知らせる。
- どんなに小さな火事でも119番に通報する。

2 初期消火

出火直後が勝負

- 火がまだ横に広がっているうちなら消火は可能。

3 避難

危険を感じたらすぐ避難

- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断。すみやかに行動を。

火元別の消火方法

ストーブ

- ・消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は、粉末消火器で。

電気機器

- ・コンセントかブレーカーを切り、粉末消火器で消火。泡消火器などは感電の恐れがあるので使用しないようにしましょう。

カーテン・ふすま・障子

- ・カーテンなどは上に燃え広がる前の対処が重要。火がついたら、引きちぎってから消火する。
- ・ふすまや障子などはけり倒し、足でふんで消す。その後、水をしっかりかけて消火しましょう。

コンロ(天ぷら油)

- ・まずコンロの火を消す。水をかけるのは厳禁。
- ・粉末消火器はなべの全面を覆うように、強化液消火器はなべのふちに向け噴射する。

家庭でも話題に

- ・火災が発生した時、どうすればよいか家庭でも話題にされてみてはいかがでしょうか。特に子供たちには、火事が発生した時どう行動すればよいか具体的に伝えておいてください。火は私たちの生活に欠かせないものです。子供たちが火と上手に付き合っているようにご家庭でもご指導をよろしくお願いします。



防災教育チャレンジプラン

この「ちよこっと防災」は、防災教育チャレンジプランの支援を受けています。